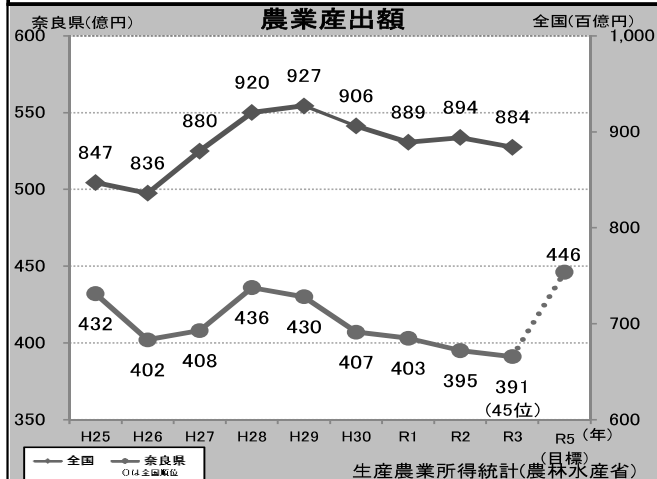


Ⅶ 豊かな「都」をつくる

- 21 農業・農地・農村・食と農の振興
- 22 畜産・水産業振興

担当部局等：食と農の振興部

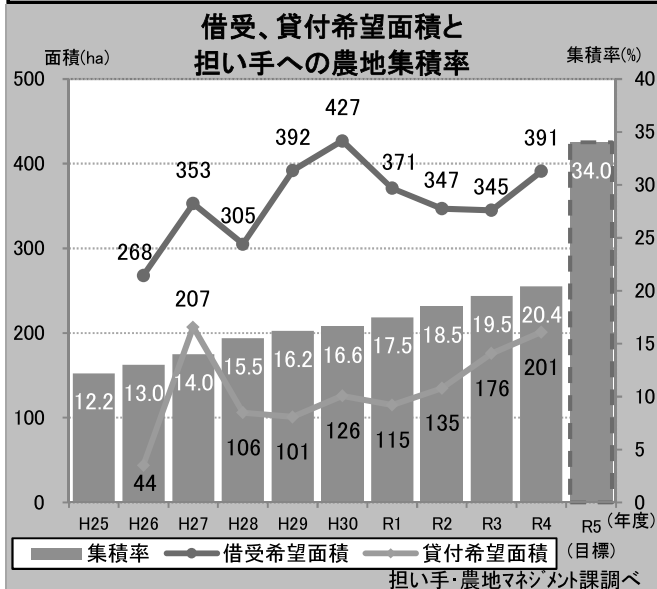
政策目標(KGI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和5年までに農業産出額を446億円にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
		H 25	R 3	R 3	88.2%	R 5
		432	- 41 億円	391	443.2	③90%未満 (基準値未満)
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p> <p>令和3年の農業産出額は、前年より4億円減少し、391億円となりました。また、平成29年から農業産出額は、減少傾向にあり、実績値が基準値を下回っています。</p>						
<p>背景・要因等</p> <p>高品質生産に向けた支援等への取組により、令和3年は、果実で5億円、花きで2億円増加しました。一方で、単価安により米で8億円減少しました。</p>						

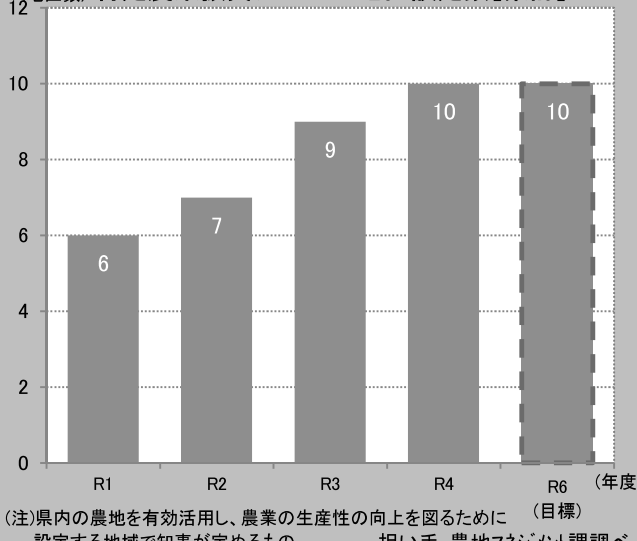


各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

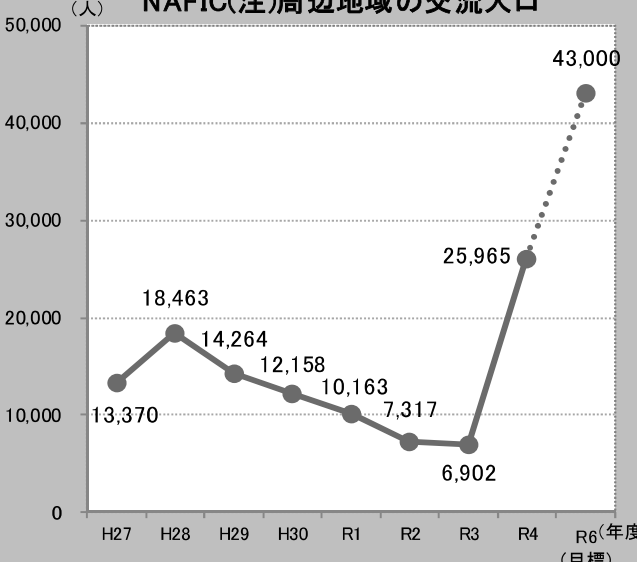
テーマ	戦略目標(KPI)	責任者
(80) 農地マネジメントの推進・特定農業振興ゾーンの整備	令和5年度までに担い手への農地の集積率を34.0%にします。	食と農の振興部 担い手・農地マネジメント課長

戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和5年度までに担い手への農地の集積率を34.0%にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
		H 25	R 4	R 4	64.1%	R 5
		12.2	+ 8.2 ポイント	20.4	31.8	③90%未満 (37.6%)
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p> <p>農地の集積率は、基準値の12.2%から8.2ポイント増加して20.4%になりましたが、進捗率は64.1%と伸び悩んでいます。</p>						
<p>背景・要因等</p> <p>農地中間管理事業の推進により、農地の集積率は着実に増加しています。一方、高収益作物となるイチゴや野菜等の面積規模の小さい作物のマッチングが中心であるため、集積率は伸び悩んでいます。</p>						
<p>R4年度の取組・成果</p> <p>担い手への農地集積を図るため、地域の話し合いに基づき、地域農業の中心となる経営体や将来の農地の出し手の状況等を明確にする「人・農地プラン」の策定を推進しています。令和4年度は、新たに42集落で「人・農地プラン」が策定されました。</p>						



戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和6年度までに特定農業振興ゾーンを累計10地区にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
(地区数) 特定農業振興ゾーン (注)地区設定数[累計] 		R 1	R 4	R 4	119.0%	R 6
		6	+ 4 地区数	10	8.4	①100%以上
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等) 令和4年度までに3市4町の10地区で、特定農業振興ゾーンの設定を行い、目標の累計10地区を達成することができました。						
背景・要因等 意欲ある市町村や農業関係者との協議を行った結果、令和4年度は東部農林振興事務所管内の宇陀市大宇陀政始北部地区で特定農業振興ゾーンの設定を行うことができました。						
R4年度の取組・成果 農業振興を図るために、規模拡大を目指す担い手や集落営農組織への支援、新規就農者の育成を実施しています。令和4年度は、田原本町の法貴寺地区で新たにイチゴ農家1名が就農し、田原本町の八田地区でも規模拡大のためにイチゴ農家1名が他地区より参入しました。						
関連指標			指標の動き			
「人・農地プラン」の策定が完了した集落数[累計](集落)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
			34	242	353	395

テーマ	(82) NAFIC教育の充実と周辺の整備	責任者	食と農の振興部次長 (豊かな食と農の振興課長事務取扱)
-----	-----------------------	-----	--------------------------------

戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和6年度までにNAFIC周辺地域の交流人口を43,000人にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
(人) NAFIC(注)周辺地域の交流人口 		H 27	R 4	R 4	71.3%	R 6
		13,370	+ 12,595 人	25,965	36,415.6	③90%未満
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等) 平成28年度をピークに減少傾向が続いていましたが、令和4年度には25,965人と過去最高となり、基準値を上回りました。						
背景・要因等 「食と農の情報発信拠点」「県中南部・東部地域の魅力発信拠点」として令和4年9月にNAFIC附属セミナーハウスの供用を開始しました。研修会等によるセミナーハウスの利用のほか、県産食材を使用したメニューを提供するカフェレストランや、観光周遊拠点としてのゲストルームの利用が好調でした。						
R4年度の取組・成果 令和4年9月に、研修室・カフェレストラン・宿泊室を備えたNAFIC附属セミナーハウスの供用を開始しました。また、スペインの世界的に著名な料理専門大学であるBCC(バスクカリナリーセンター)と連携協定を締結し、NAFIC教育の充実を図っています。						

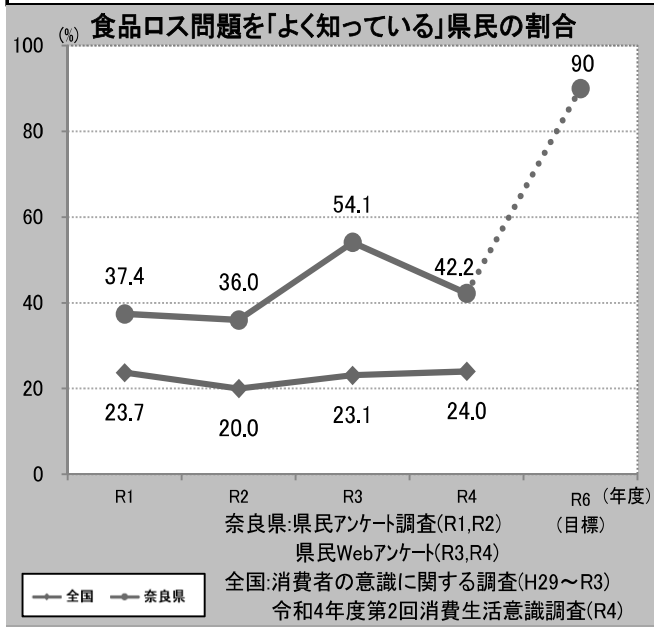
関連指標		指標の動き			
南部・東部観光客数(千人)		H30年	R1年	R2年	R3年
		21,877	22,501	15,574	14,704

テーマ	(84) 食品ロス削減への対応
-----	-----------------

責任者	食と農の振興部次長 (豊かな食と農の振興課長事務取扱)
-----	--------------------------------

戦略目標(KPI)	
令和6年度までに食品ロス問題を「よく知っている」県民の割合を90%にします。	

基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
R 1	R 4	R 4	61.2%	R 6
37.4	+ 4.8 ポイント 42.2	69.0	③90%未満	90 (9.1%)



評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)
 食品ロス問題を「よく知っている」県民の割合は、令和4年度は前年度を下回りましたが、令和元年度以降全国の数値を上回っています。

背景・要因等
 食品ロス問題を「よく知っている」県民の割合は、令和3年度を下回りましたが、「知っている」と「よく知っている」を合わせた割合は、令和3年度が97.8%、令和4年度が97.1%と横ばいとなっており、食品ロス問題に対する認知度は高い割合を保っています。

R4年度の取組・成果
 クイズやゲームで食品ロスを知る啓発イベントを実施したほか、食品ロスに関する情報を一元的に集約するポータルサイトを構築しました。ポータルサイトでは、消費者、事業者、行政がそれぞれの立場で必要とする情報や取組事例の紹介のほか、食品ロスについて知るページや子ども向けのページを設けています。

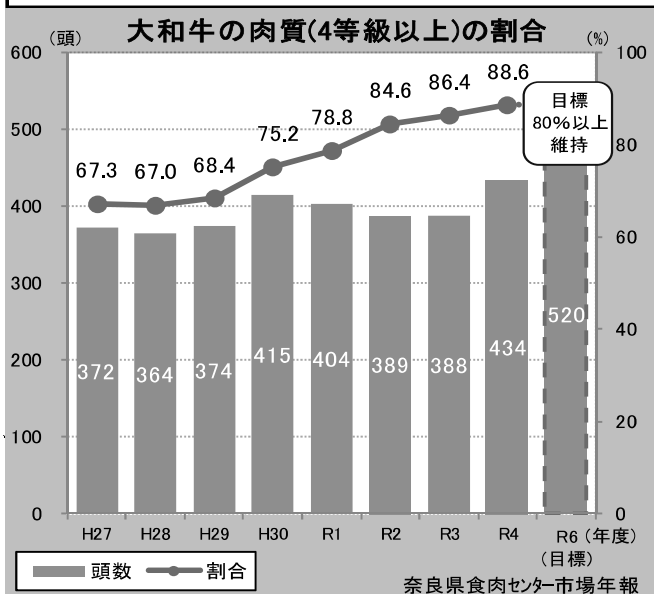
関連指標	指標の動き			
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
食品ロス削減に取り組む市町村数(市町村)	16	16	19	21

テーマ	(85) 食肉会社の適切な運営と大和畜産ブランド力の向上
-----	------------------------------

責任者	食と農の振興部 畜産課長
-----	-----------------

戦略目標(KPI)	
令和6年度まで大和牛の肉質(4等級以上)の割合を80.0%以上を維持します。	

基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 27	R 4			R 6
67.3	+ 21.3 ポイント 88.6			80%以上を維持



評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)
 令和4年度の大和牛のうち4等級以上の占める割合は、前年度から2.2ポイント向上し、目標値である80%以上を維持しています。また、大和牛全体の生産頭数は過去最高となりました。

背景・要因等
 ブランド認証制度(平成28年12月開始・奈良県プレミアムセレクト大和牛)の実施や、資質の良い子牛を購入した場合の補助(令和元年度~)等を継続して実施した結果、大和牛の品質は向上・維持しています。大和牛の生産頭数はコロナ禍の影響の緩和により増加しています。

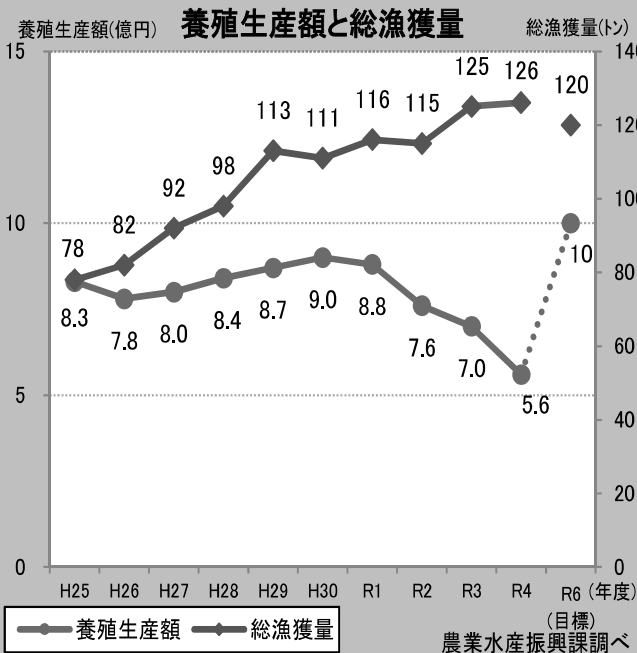
R4年度の取組・成果
 令和元年度より資質の良い子牛の購入に対する補助を実施しています。大和牛生産頭数が減少傾向であるため、補助対象の条件を変更し、大和牛品質の維持に加え、生産頭数の維持及び増加も図っています。

関連指標	指標の動き			
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
奈良県プレミアムセレクト大和牛の認証頭数(頭)	20	27	20	44
大和牛の生産頭数(頭)	513	460	449	490

テーマ	(87) 内水産業の振興
-----	--------------

責任者	食と農の振興部 農業水産振興課長
-----	---------------------

戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和6年度までに金魚やアマゴ等の養殖生産額を10億円に、アユやアマゴ等の総漁獲量を120トン以上にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
		H 25	R 4	R 4		R 6
		8.3	- 2.7 億円	9.7	57.8%	10 (基準値未滿)
		78	+ 48 トン	112.4	112.1%	120 (114.3%)
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p> <p>令和4年度の養殖生産額は、令和3年度よりも1.4億円減少し、基準値よりも2.7億円減少しました。総漁獲量は令和3年度より1トン増加し、目標値を上回っています。</p> <p>背景・要因等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、お祭り・イベントが激減し、金魚すくい用の金魚の販売が減少したため、養殖生産額は減少しています。総漁獲量は、紀伊半島大水害からの漁場の回復により徐々に増加しています。</p> <p>R4年度 of 取組・成果</p> <p>すくい用金魚から高級品種への生産転換の取組を支援しました。健康なアユやアマゴ等の増殖支援により漁獲量が増加しました。</p>						



関連指標	指標の動き			
高級品種の販売額の割合(%)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	32.2	36.4	38.6	23.4
遊漁者数(千人)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	29	28	31	27

数値目標が設定されていないテーマ等の進捗状況

テーマ	(81) 中央卸売市場の再整備	責任者	食と農の振興部 中央卸売市場再整備推進室長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和10年度までに地域に開かれたにぎわいのある中央卸売市場を整備します。		【R5予算執行査定の結果:整備計画の再検討を行い、戦略目標を改めて検討します。】	

テーマ	(83) 奈良県豊かな食と農の振興条例の推進	責任者	食と農の振興部次長 (食と農の振興部企画管理室長事務取扱)
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
「奈良県豊かな食と農の振興計画」に基づいて施策を推進します。		令和3年4月1日に策定した「奈良県豊かな食と農の振興計画」に基づき、「奈良の食の魅力づくり」、「食を通じた健康増進と子どもの健全育成」、「戦略的な販売の推進」、「生産振興」にむけて、施策や事業を推進しました。	

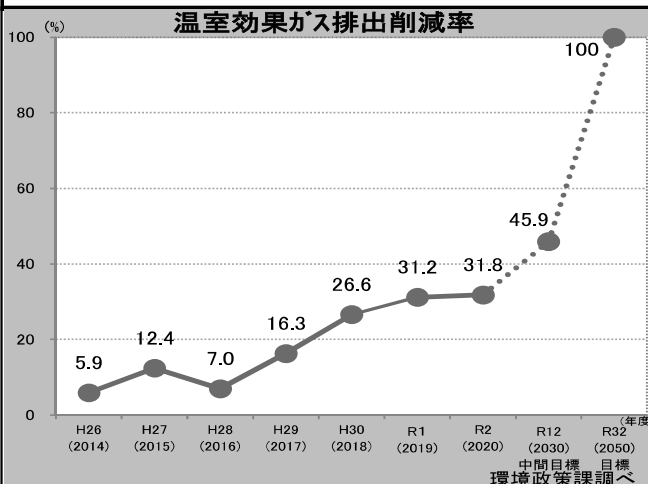
テーマ	(86) みつえ高原牧場の整備	責任者	食と農の振興部 畜産課長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和10年度に畜産団地をオープンします。		【R5予算執行査定の結果:整備計画の再検討を行い、戦略目標を改めて検討します。】	

Ⅶ 豊かな「都」をつくる

23 脱炭素時代のエネルギー政策

担当部局等：水循環・森林・景観環境部

政策目標(KGI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
2050年までに温室効果ガス排出削減率を2013年度比100%(温室効果ガス排出実質ゼロ)を目指します。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
		H 26	R 2	R 2	147.3%	R 32
		5.9	+ 25.9 ポイント 31.8	21.6	①100%以上	100 (27.5%)
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
<p>温室効果ガス排出削減率は、平成26年度の5.9%から令和2年度には31.8%まで増加しました。進捗率は100%を超えており、順調に進捗しています。</p>						
背景・要因等						
<p>奈良県環境総合計画及び奈良県エネルギービジョンに基づき、省エネ・節電等の推進、再生可能エネルギーを活用した地域の取組への支援の実施により、温室効果ガスの排出削減施策を推進しているところです。 2050年ゼロカーボンに向け、さらに取組を強化する必要があります。</p>						

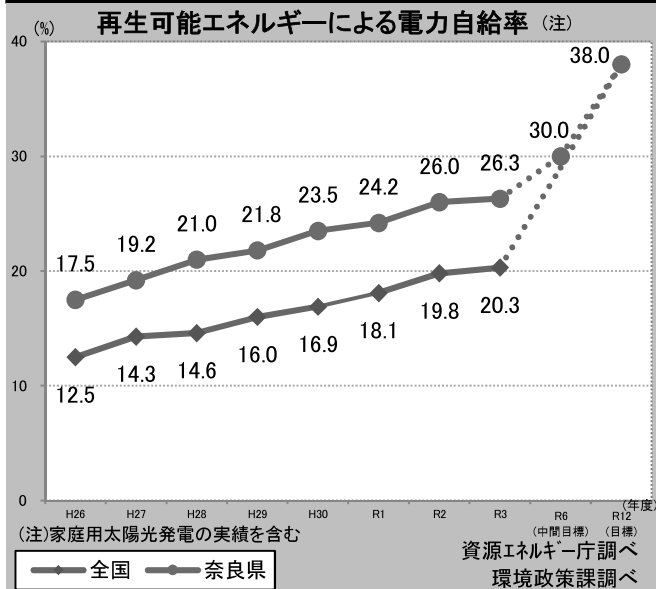


各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

テーマ	(88) 脱炭素時代の奈良県エネルギー政策
-----	-----------------------

責任者	水循環・森林・景観環境部 環境政策課長
-----	------------------------

戦略目標(KPI)	
令和12年度までに再生可能エネルギーによる電力自給率を38.0%(中間目標:令和6年度までに30.0%)にします。	



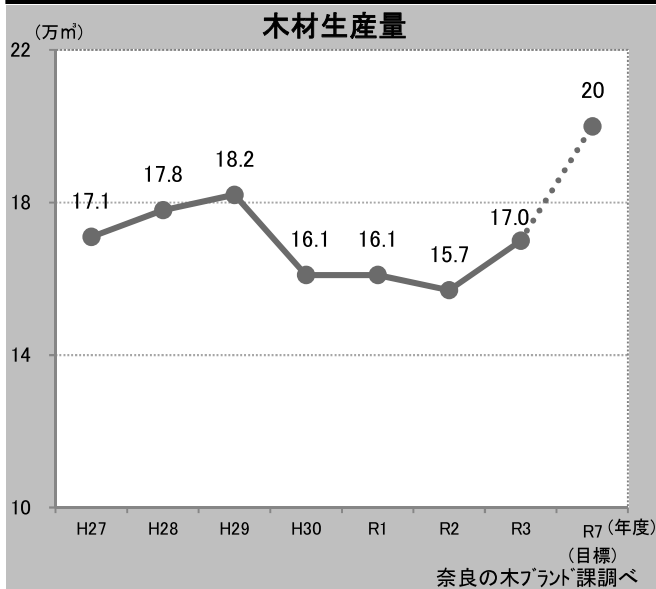
基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 26	R 3	R 3	99.4%	R 12
17.5	+ 8.8 ポイント 26.3	26.5	②(90~100%)	38.0 (42.9%)

評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)
奈良県における再生可能エネルギーによる電力自給率は、継続して全国平均よりも高い水準を保っていますが、令和3年度は26.3%と前年度からほぼ横ばいで推移しています。

背景・要因等
省エネ・節電・節減の取組が進んでいる一方で、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新しい生活様式(在宅勤務等)が定着してきた等の理由により、前年度と比べ電力使用量が上昇したためと考えられます。

R4年度の取組・成果
県内一般家庭や事業者における電力自給率向上のため、設備導入等に対する補助を実施しており、奈良県でも再生可能エネルギーの導入が着実に進んでいます。

戦略目標(KPI)	
令和7年度までに木材生産量を20万m ³ にします。	



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 27	R 3	R 3	90.2%	R 7
17.1	- 0.1 万m ³ 17.0	18.8	②(90~100%)	20 (基準値未滿)

評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)
木材(原木)生産量は、平成30年度から令和2年度は減少傾向を示していましたが、令和3年度は1.3万m³増加し、17万m³になりました。

背景・要因等
ウッドショックの影響による輸入木材の入荷減少とそれに伴う国産材の需要の高まりにより、県産材についても県内のみならず他府県からも引き合いがあったことで増加に繋がったと考えられます。

R4年度の取組・成果
木材加工流通施設の整備支援により、県産材の生産効率向上のための体制を強化しました。また、県産材を利用して木造・木質化に取り組む法人等への支援や、木質バイオマス利用施設の整備支援により、県産材の多用途への利用を促進しました。

関連指標	指標の動き			
FIT制度による再生可能エネルギー設備容量[累計](kw/km ²)	H30年度 134.83	R1年度 144.24	R2年度 164.90	R3年度 173.65
燃料チップ用原木供給量(m ³)	R1年 39,893	R2年 50,329	R3年 44,868	R4年 48,763

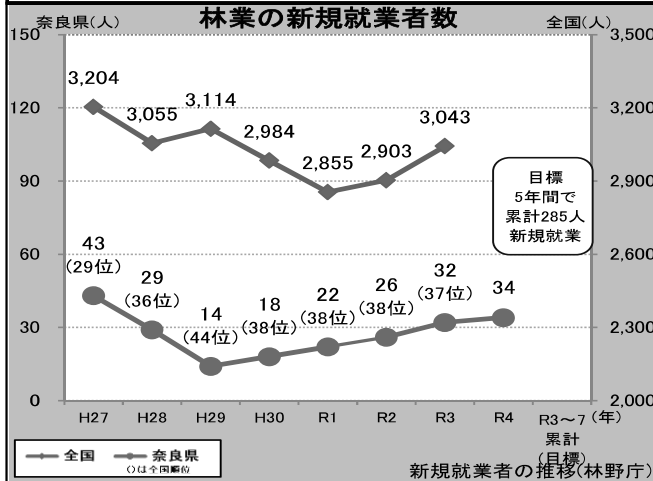
Ⅶ 豊かな「都」をつくる

24 森林環境管理・林業振興

担当部局等：水循環・森林・景観環境部

★目標値に対する実績値の割合を記載しています。

政策目標(KGI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
新たな森林環境管理を推進するため令和3年～7年の林業の新規就業者数を285人にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
			R3～4	R3～4	57.9%	R3～7
			66	114	③90%未満	285 (23.2%)★
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
奈良県の新規就業者数は、進捗率は低い水準ですが、平成30年から令和4年まで5年連続で増加しました。						
背景・要因等						
就業希望者への働きかけや奈良県が行っている林業事業者への各種支援等によって、雇用が拡大していることが、新規就業者数が増加している要因と考えられます。						

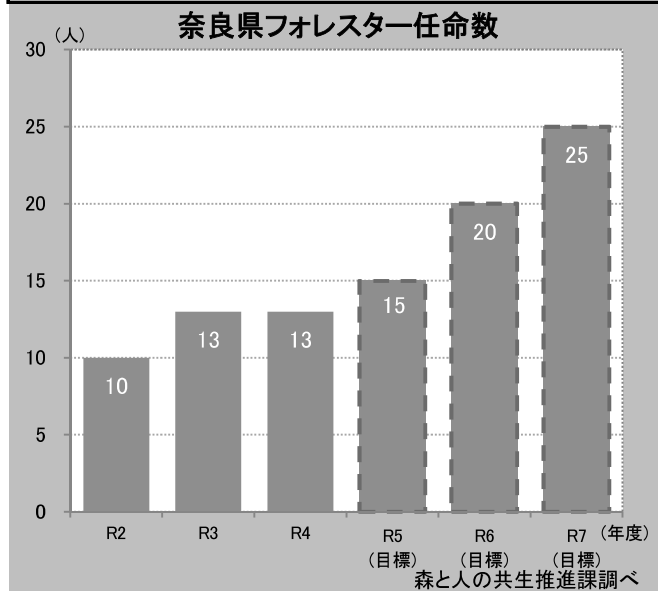


各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

テーマ	(89) 新たな森林環境管理制度・奈良県フォレスター制度の確立
-----	---------------------------------

責任者	水循環・森林・景観環境部 森と人の共生推進課長
-----	----------------------------

戦略目標(KPI)	
令和7年度までに奈良県フォレスターを25人任命します。	



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
R 2	R 4	R 4	81.3%	R 7
10	+3人 13	16	③90%未満	25 (20.0%)

評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)

県の林学職員を対象として、令和2年度に10名、令和3年度に13名、令和4年度に13名の奈良県フォレスターを任命しました。

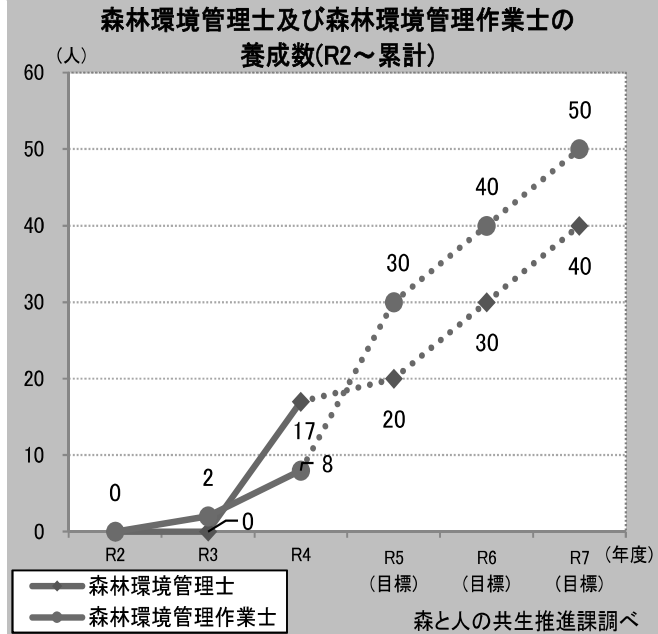
背景・要因等

奈良県フォレスターアカデミーから最初の卒業者が出る令和5年度までは、県出先及び本課の林業普及指導員を中心に奈良県フォレスターを任命しました。

R4年度の取組・成果

令和5年度からの奈良県フォレスターの市町村配置に向け、令和3年4月開校の奈良県フォレスターアカデミーにおいて、令和3年度に6名、令和4年度に3名が森林管理職として入学し、卒業後の奈良県フォレスター任命を目指しカリキュラムに沿って修業しています。

戦略目標(KPI)	
令和7年度までに森林環境管理士を40人、森林環境管理作業士を50人養成します。	



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
R 2	R 4	R 4		R 7
管理士 0	+17人 17	16	106.3% ①100%以上	40 (42.5%)
作業士 0	+8人 8	20	40.0% ③90%未満	50 (16.0%)

評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)

令和4年度は、令和3年度にフォレスター学科(2年制)に入学した17名が森林環境管理士の資格を、令和4年度に森林作業員学科(1年制)に入学した6名が森林環境管理作業士の資格を取得しました。

背景・要因等

フォレスター学科及び森林作業員学科合わせ定員20名程度のところ、令和3年度のフォレスター学科への入学者数は17名(森林作業員学科2名)、令和4年度の森林作業員学科への入学者数は6名(フォレスター学科13名)であり、フォレスター学科への申し込みが多いことが、森林環境管理作業士が目標人数に達しなかった要因です。

R4年度の取組・成果

オープンキャンパスの実施、アカデミー入学体験講座、高校向けPR活動(訪問)、SNS等を活用した周知等により応募者増に向け取り組みました。

戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和7年度までに混交林への誘導を1,100ha行います。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
<p>混交林誘導整備面積[累計]</p> <p>目標 令和3~7年度 までの5年間で 累計1,100haの 混交林誘導 整備を実施</p> <p>森と人の共生推進課調べ</p>		R 2	R 4	R 4	20.5%	R 7
		0	+ 90 ha	90	440	③90%未満
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
事業開始初年度の令和3年度は45ha、令和4年度も45haの整備を行い、累計90haとなりましたが、進捗率は低い水準となっています。						
背景・要因等						
本県において過去に事例のない新たな取り組みについての周知不足から、森林所有者や作業実施者等の理解が十分得られていないことが要因と考えます。						
R4年度の実績・成果						
市町村及び森林組合等関係団体向けに説明会を開催し周知を図りました。また、県の事業のメニューに「計画策定」を追加し、事業箇所の確定を先行して実施することで事業地の確保に取り組みました。						
関連指標			指標の動き			
フォレスター学科入学者数/森林作業員学科入学者数[累計](人)				R3年度	R4年度	R5年度
				17/3	30/9	42/13
混交林誘導整備事業実施市町村数[累計](市町村)					R3年度	R4年度
					14	17

テーマ	(90) 奈良県産材の安定供給及び利用の促進、奈良の木ブランド戦略	責任者	水循環・森林・景観環境部 奈良の木ブランド課長
-----	-----------------------------------	-----	----------------------------

戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和7年度までに木材生産量を20万m ³ にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
<p>木材生産量</p> <p>奈良の木ブランド課調べ</p>		H 27	R 3	R 3	90.2%	R 7
		17.1	- 0.1 万m ³	17.0	18.8	②(90~100%)
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
木材(原木)生産量は、平成30年度から令和2年度は減少傾向を示していましたが、令和3年度は1.3万m ³ 増加し、17万m ³ になりました。						
背景・要因等						
ウッドショックの影響による輸入木材の入荷減少とそれに伴う国産材の需要の高まりにより、県産材についても県内のみならず他府県からも引き合いがあったことで増加に繋がったと考えられます。						
R4年度の実績・成果						
木材加工流通施設の整備支援により、県産材の生産効率向上のための体制を強化しました。また、県産材を利用して木造・木質化に取り組む法人等への支援や、木質バイオマス利用施設の整備支援により、県産材の多用途への利用を促進しました。						
関連指標			指標の動き			
ポータルサイト「奈良の木のこと」のユニークユーザー数(人)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
			48,183	53,168	75,601	97,686
県産製材品出荷量(千m ³)			H30年	R1年	R2年	R3年
			71	64	55	61